

1, 原爆の被害について

- アメリカによって、日本に原爆が投下された。
- 原爆は、(1945)8月6日に広島、(1945)8月9日に長崎に落とされた。
- 爆発した高さは広島は、上空600メートル、長崎は、上空500メートルほどと考えられる。

2, 広島の人的被害について

- 爆心地の近くにいた人はあまりの高温のため一瞬で骨すら残らずに、消えてしまった。
- 人々は、被爆した瞬間、爆風で、数メートルほど吹き飛んだといわれている。
- 他にも、その少し前に、*建物疎開が行われていて、家の外にいる人も多かった。
- そのため、被害がさらに大きくなってしまったとも考えられる。
- 全身に火傷を負って皮膚が垂れてしまっている人も、数えきれないほどいた。
- 肉が裂け、骨が露わになっても、人々は水を求め歩き続けた。
- 原爆投下から何日経っても、放射線の影響で、体の調子は悪くなって行くばかりであった。



*建物疎開とは
空襲に備え家を崩し
防火壁を作ること

3, 広島の物、自然の被害について

- 一番大きかったのは、他の場所へ逃げるための橋が壊されてしまった事。それにより、希望を捨て、自殺してしまった人が後を立たなかった。
- なんとか死なずに済んだ人たちも、病院が壊され、そのまま何もできずに亡くなる方もいた。
- 爆心地から数百メートルもの場所が、更地になってしまった。
- 放射能を含み、有害な性質を持った「黒い雨」が、広い範囲で降り注いだ。しかし、有害とわかっているにもかかわらず、飲んでしまうほど、人々は水に飢えていた。



4, 実際に資料館に行って思ったこと

僕は、原爆資料館に行って一番強く思ったことは、核兵器は、今後絶対に使用してはいけないという事です。

その理由は、人が消えるほど強力な物だし、被害は、落ちてからいつまで経っても長く続き、人々を苦しめる物だと思ったからです。

僕は初め、G7サミットが、なぜ広島で行われたのか知りたいなと思い応募しました。

それに対する広島に行ってみた僕の答えは、原爆が落とされたのは、広島と長崎だけで、今回のG7サミットでは、ロシアの戦争、平和について話すという事だったので、日本の中で、戦争の跡がくっきり残っている広島が選ばれたのではないかなと思いました。

これほど大きな被害が出ている広島が、今は大きなビルが建ったり、大きなお店があったりするほどまで栄えていることは、すごい事だなと思いました。

そして改めて、被爆者が減っていった中、この悲惨な事実から目を背けずこれからもずっと残して、いつまでも伝えていき平和が続くといいと思いました。